

令和6年2月議会 総務財政委員会報告資料

1 南区における拠点施設の基本的考え方・・・・・・・・・・・・・・・・	1頁
-------------------------------------	----

総務企画局

南区における拠点施設の基本的考え方

1 概要

- 福岡市では、行政区を単位に市民センター、体育館など地域活動を支える施設を整備してきた。また、それらを補完する複合施設として地域交流センターを整備することで、区単位での行政サービスの適正化を図ってきた。
- しかしながら、南区は、西南部を中心に高齢化が進展し、公共交通の利便性向上が求められているなか、行政サービス機能の配置状況に課題を抱えている。
- そのため、これまで南区の地域特性調査等を実施しながら、**区単位の行政サービスを補完する機能をもった拠点施設の検討を進め**、今回、南区における現状と課題を整理し、南区における拠点施設のあり方について、基本的な考え方をとりまとめたもの。

2 南区の現状と課題

(1) 地域活動を支える区単位の行政サービス施設※の状況

(※以下、「区単位の行政サービス施設」という)

① 各区の人口と区単位の行政サービス施設

- 令和2年国勢調査によると、南区は東区に次いで人口が多いが、**区単位の行政サービス施設の立地が少ない。**

	人口（人）	施設名	ホール・会議室等	体育館	図書館
東区	322,503	東市民センター	○		○
		東体育館		○	
		和白地域交流センター (コミセンわじろ)	○	○	○
博多区	252,034	博多市民センター	○		○
		博多体育館		○	
		市民体育館		○	
		博多南地域交流センター (さざんびあ博多)	○	○	○
中央区	205,501	中央市民センター	○		○
		中央体育館		○	
南区	265,583	南市民センター	○		○
		南体育館		○	
城南区	132,864	城南市民センター	○		○
		城南体育館		○	
早良区	221,328	早良市民センター	○		○
		早良体育館		○	
		ももち体育館		○	
		早良南地域交流センター (ともてらす早良)	○		○
西区	212,579	西市民センター	○		○
		西体育館		○	
		西部地域交流センター (さいとびあ)	○	○	○

※対象…地域活動を支える区単位の行政サービス施設として市民センター、体育館、地域交流センターを対象とした。なお、市域に1つの施設である総合図書館・総合体育館は除外した。

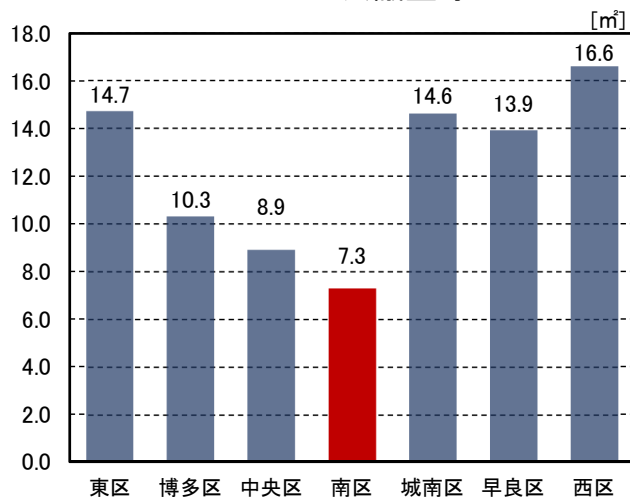
※人口…R2国勢調査

※ホール・会議室等…ホール、多目的ホール、会議室、和室、視聴覚室、実習室、研修室、音楽室

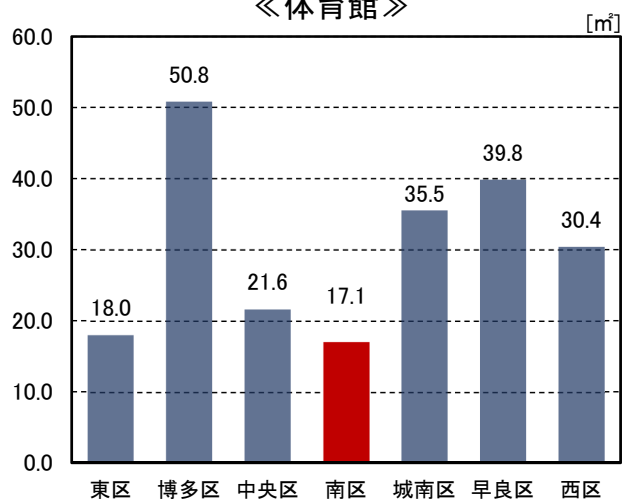
② 区単位の行政サービス施設の人口千人あたり床面積

- 「ホール・会議室等」、「体育館」、「図書館」の人口千人あたり床面積は、南区が全市で最も低い。

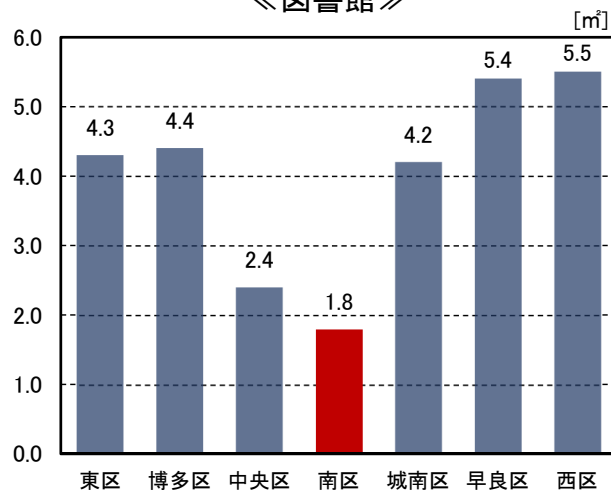
《ホール・会議室等》



《体育館》



《図書館》

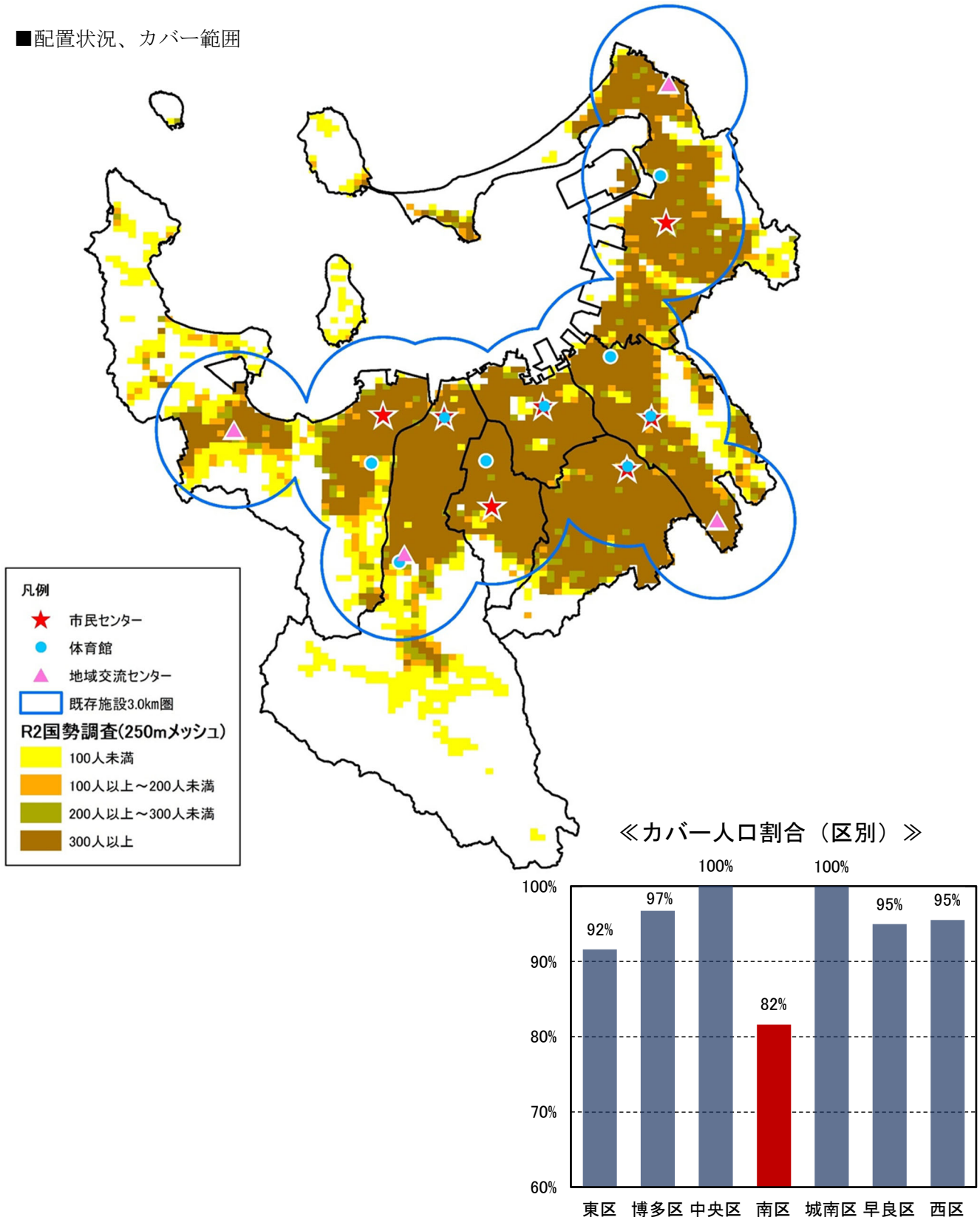


※上記には市域に1つの施設である総合図書館・総合体育館の面積は含んでいない。

③ カバー範囲・人口

- 南区の西南部地域は比較的人口密度が高く、各施設のカバー範囲（3km）外となっているエリアが多い。
- 令和2年国勢調査の250mメッシュデータに基づく、各施設のカバー人口（利用圏域3km）を区別に比較すると、他区は90%以上だが、南区は82%となっている。

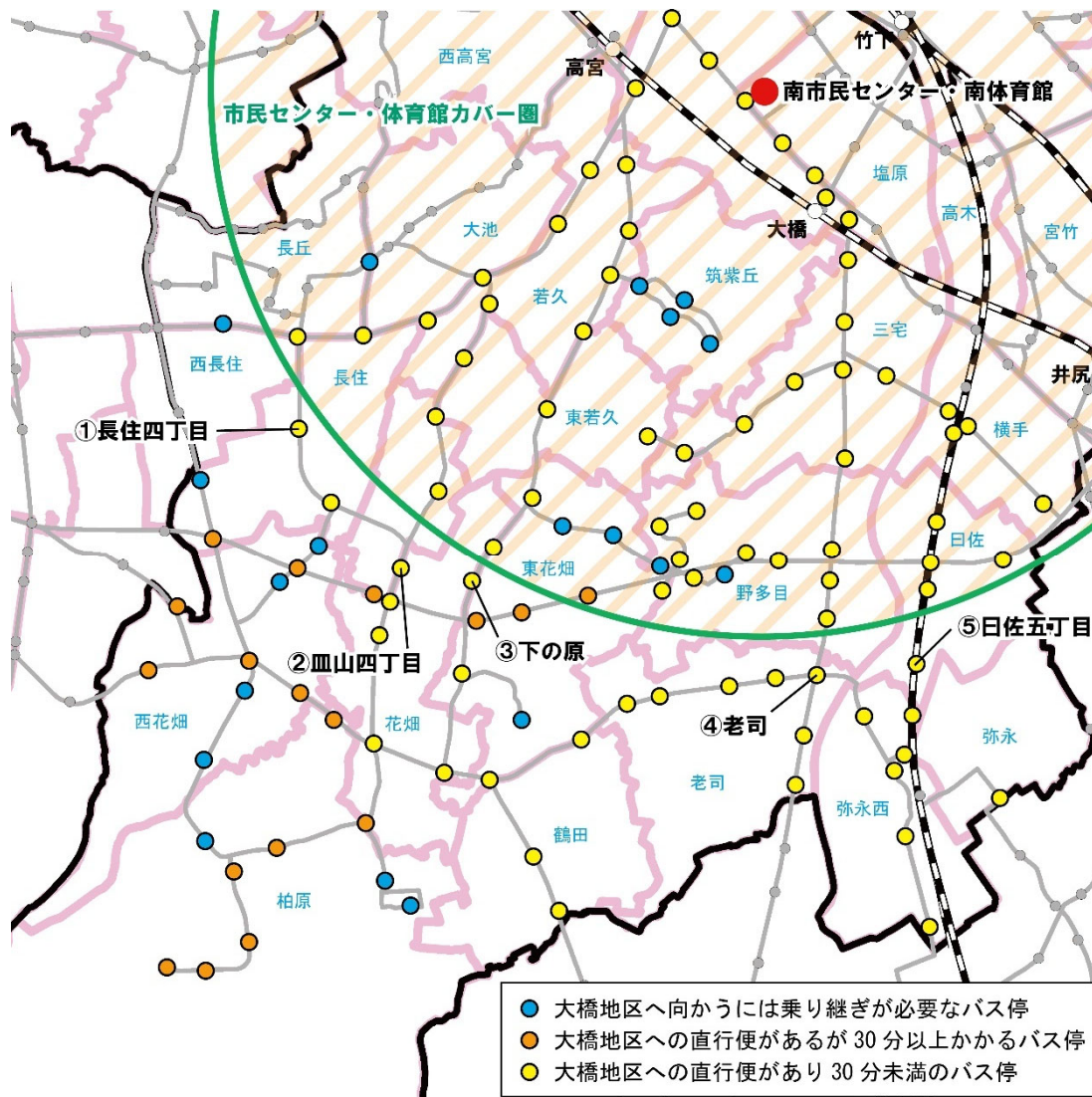
■ 配置状況、カバー範囲



(2) 公共交通の状況

- 南区は北東部に鉄軌道が位置し、西南部地域は西鉄天神大牟田線からも遠く、路線バスが主体の交通体系となっている。
- 南区における区単位の行政サービス施設は、区北東部（大橋地区）に立地しているなか、西南部地域において、区北東部（大橋地区）へ向かうためには、乗り継ぎが必要なバス停や直行便利用で30分以上要するバス停が多い。

■公共交通網（バス路線）



■各方面から大橋方面へ向かう主要バス停の便数

(直行便30分未満で、南市民センターのカバー圏に近接しているもの)

	全便数	大橋方面直行便数
①長住四丁目	492	12
②皿山四丁目	482	14
③下の原	268	9
④老司	377	196
⑤日佐五丁目	102	51

※R5.9バス路線網図調査、バス乗車時間は午前10時以降に運行している最も早い時間帯の便

(3) 高齢化の状況

- 南区の高齢化率は全市平均より高く、特に、北東部に立地する南市民センター等のカバー範囲（3km）外を含む**西南部地域 11 校区**（平均 29.2%）は高い。
- また、人口集中地区（DID 地区）の中でも高くなっている。

■ 高齢化率（R2 国勢調査）

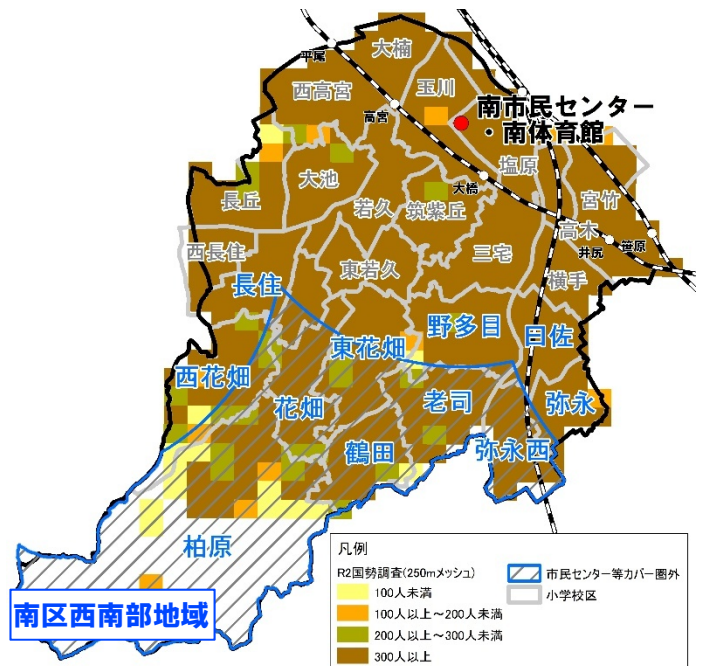
福岡市 22.1% (DID 地区 21.6%)			
東 区	22.3%	博多区	18.2%
中央区	18.6%	南 区	23.2%
城南区	24.8%	早良区	24.0%
西 区	24.2%		

西南部地域 11 校区 平均 29.2%					
花 畑	27.0%	日 佐	22.7%	老 司	31.1%
長 住	30.7%	西花畑	27.4%	弥 永	34.8%
東花畑	32.7%	弥永西	25.2%	鶴 田	31.9%
野多目	27.2%	柏 原	30.8%		

3 南区における拠点施設の基本的考え方

(1) 施設整備の必要性

- 南区は、区単位の行政サービス施設の立地数、カバー人口割合、千人あたり床面積が他区と比較して少ない。
- 特に西南部地域は、比較的人口密度が高くなか、既存施設のカバー範囲外となっているエリアが多い。また、高齢者の割合も高く、南市民センター等が立地する区北東部（大橋地区）へのバス交通が不便である。
- そのため、西南部地域に区単位の行政サービスを補完する施設の整備が必要である。



(2) 行政サービスを補完するために必要な機能

- 区単位の行政サービスの適正化を図るため、特に「ホール・会議室等」、「体育館」、「図書館」等の機能配置について、具体的な検討を進める必要がある。

(3) 整備を検討する施設

- 区単位の行政サービスを補完する施設として、西南部地域に「地域交流センター」を整備する方向で検討していく。

4 今後の進め方

(1) 基本構想の検討

施設の位置付けやコンセプト、導入機能、諸室構成、整備地の検討

(2) 基本計画の検討

建築・運営計画、事業手法など具体的な施設計画の検討

(3) 整備スケジュール等の検討

基本計画に基づくスケジュールの検討